



いばらき「建設フォトコンテスト」 A部門 建設のある茨城の風景 テーマ 地域に溶け込む「建設」

入選 リフレクション (撮影地/茨城県水戸市) 角崎 晃紀

主な内容

- ▼ 理事会で令和3年度の事業計画を決定
- ▼ 円滑な施工へ国交省、県と意見交換
- ▼ C C I 茨城の令和3年度事業計画
- ▼ I C T 体験会を開催

本会ホームページに「茨建協ニュース」の内容を掲載しています。ご活用ください。

本会はコンプライアンス(法令遵守)をさらに徹底します

発行 (一般社団法人) 茨城県建設業協会

〒310-0062 茨城県水戸市大町 3-1-22

電話 029-221-5126 (代)

H P <http://www.ibaken.or.jp/>

編集 日本工業経済新聞社・水戸支局

生産性高め、働き方改革を

令和3年度事業計画が決定 理事会

本会は3月26日、理事会を水戸市の茨城県建設技術研修センターで開催し、令和3年度の事業計画案を承認しました。令和3年度も公共事業予算の安定的な確保・拡大への要望活動、円滑な施工体制の確保、生産性向上や働き方改革の推進、地域貢献活動、若年入職者の確保・育成などに取り組めます。

あいさつで石津健光会長は、城里町などで発生した鳥インフルエンザの防疫作業に尽力した会員各社にあらためて感謝の意を表明。また新型コロナウイルス感染症対策への協力も呼び掛けた。さらに昨年12月に閣議決定された「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」について、事業の円滑な執行への協力も求めました。そして「理事会では令和3年度事業計画などを



石津会長

審議していただく。慎重な審議をお願いしたい」とあいさつしました。



令和3年度の事業計画を協議しました

令和3年度 主な事業計画

【建設工事の品質と県民の安全・安心の確保を図る事業】

- ◆公共事業予算の安定的な確保・拡大
 - ・社会資本整備の計画的な推進と公共事業予算の持続的・安定的な確保・拡大、受注機会の確保、公共事業の円滑な施工の要望活動
- ◆新・担い手3法など適切な運用への対応
 - ・関係機関への要望・提言
- ◆経営の改善、技術力の向上等に関する啓発指導事業
 - ・経営の改善へセミナー、講習会の開催
 - ・生産性向上に関する取り組み＝技術力向上へ提言・要望
- ◆建設業における地域貢献活動事業
 - ・災害時の対応、道路清掃活動など
- ◆積極的な広報活動の推進

【建設業の健全な発展向上を図るための雇用改善および人材確保・育成に関する事業】

- ◆人材の確保・育成
 - ・若年入職者の確保、育成＝建設現場見学会、インターンシップの実施、建設業親子見学会の開催、建設業合同企業説明会の開催など
 - ・高校生向け資格取得支援
 - ・働き方改革等＝毎月第1・第2・第4土曜日を一斉休工
 - ・女性活躍の推進＝女性部会「建女ひばり会」の活動推進など
- ◆建設キャリアアップシステム（CCUS）への登録および利用の促進
- ◆労働災害防止対策の推進
 - ・労働安全衛生法に基づく対策の周知

大井川知事を推薦

理事会で決定

本会は3月26日の理事会で、現職の大井川和彦知事から依頼されていた知事選挙への推薦について、適任と認め推薦することを決定しました。

石津会長は「大井川知事は県政のトップリーダーとして最適任と認め、推薦を機関決定しました。引き続き県土の均衡ある発展と県民生活に欠かせない社会資本整備、安心・安全、豊かで住みよい魅力

ある県土づくりに手腕を発揮されますことを心よりお祈り申し上げます」としています。

知事選挙は、大井川知事の任期満了（令和3年9月25日）に伴い行われます。大井川知事は現在1期目。



大井川県知事

常設委員会・建女ひばり会 令和3年度事業計画

【経営企画委員会】（佐々木孝夫委員長）

- ①建設業のCSRの促進と法令遵守の徹底
- ②入札契約制度改革への対応、品確法及びその運用指針等に関する提言、要望
- ③建設業の社会貢献活動及び積極的な広報活動
- ④建設業における働き方改革の推進
 - ・週休2日制の推進
- ⑤経営改善に資する諸施策の推進
 - ・事業継続計画（BCP）の普及促進
 - ・税制改正に関すること
- ⑥建設キャリアアップシステムへの対応
- ⑦建設労働災害防止対策の推進
- ⑧発注機関及び関連団体等との意見交換
- ⑨研修視察の実施

【土木委員会】（梅原基弘委員長）

- ①建設工事の生産システムに関する諸問題への取り組み
- ②建設技術者の個の資質向上への取り組み
- ③社会資本の維持管理分野等への取り組み
- ④公共調達制度等に関する調査・研究
- ⑤新たな施策に対する取り組み
- ⑥災害対応に係る体制の推進
- ⑦発注機関及び関連団体等との意見交換
- ⑧研修視察の実施

【建築委員会】（沢畑正剛委員長）

- ①建築工事における安全施工確保への対応
- ②建設副産物の適正処理、建設リサイクル推進
- ③建築工事における経営力の強化、技術力向上
- ④発注機関及び関連団体等との意見交換
- ⑤建築CPDユニット（単位）付与の講習会及び研修会の開催
- ⑥耐震化及び免震化に関する対応
- ⑦BIM/CIM活用促進に向けた取り組み
- ⑧研修視察の実施

【人財開発委員会】（高橋修一委員長）

- ①建設業における人材の確保・育成
 - ・若年入職者の確保・育成に関すること
 - ・働き方改革に関すること
 - ・女性活躍に関すること
 - ・外国人材の受け入れに関すること
- ②雇用改善に関する勉強会・研修会等の実施
- ③発注機関及び関連団体等との意見交換
- ④研修視察の実施

【女性部会「建女ひばり会」】（柳瀬香織会長）

- ①女性活躍に関する広報活動
- ②現場見学会・視察の実施
- ③女性活躍に関する勉強会・研修会等の開催
- ④発注機関及び関連団体等との意見交換
- ⑤会員交流会の開催

特定JV活用拡大など要望

円滑な施工確保へ 国交省、県と意見交換

本会は3月11日、国土交通省と茨城県土木部と公共工事の円滑な施工確保へ向けた意見交換会を水戸市の茨城県建設技術研修センターで開催しました。本会からは正副会長、支部長が出席し、技術者配置基準の見直し、前払金の限度額の引き上げ、直轄工事における特定JVの活用拡大などを要望。国からは前向きに検討するなどの回答がありました。

本会からの要望内容

【技術者制度の基準見直し等】

- ・建設業法で監理技術者の配置基準が定められているが、国において事業執行における施工体制の確保へ発注ロットの拡大が行われ、監理技術者不足が顕著になりつつある。監理技術者の配置基準の大幅な引き上げを検討していただきたい。
- ・限られた人員で公共事業を円滑に進めていくためにも、現行の主任技術者等の専任基準の引き上げの検討をお願いしたい。

【建設キャリアアップシステム】

- ・建設キャリアアップシステムを推進していくためには、技能者だけでなく地域の中小企業や事業主も積極的に取り組むメリットが必要になる。事業者登録は規模が大きい事業者であればあるほど登録料の負担は大きくなる。各現場のICカードリーダーの設置や端末運用などで負担が生じており、設計単価に反映されるよう検討をお願いしたい。

【前払金の限度額の引き上げ】

- ・コロナ禍の中、建設業者の資金繰り支援や経済対策の観点から、前払金の限度額（4割）の引き上げを検討していただきたい。

【技術検定制度】

- ・2級施工管理技士の第一次検定（学科試験）は、高校在学中の受検者が増加していると思われるので、受検会場を地方にも設置するなどの措置



円滑な施工確保へ意見を交換しました

をお願いしたい。

- ・将来の技術者不足を解消するため、第二次検定（実地試験）の資格要件（実務経験）の緩和策も検討をお願いしたい。

【概略設計による発注】

- ・概略設計発注では、工事が円滑に進められるよう、着工前の三者会議の実施および詳細設計の引渡期限の遵守をお願いしたい。併せて、地域の実情をよく知っている県内コンサルタントの活用を図るなどの方策を検討していただきたい。

【直轄工事における特定JVの活用拡大】

- ・直轄工事の過去の実績評価などにより、直轄の施工実績がない企業の新規参入が難しい状況にある。については、災害復旧工事や国土強靱化5か年加速化対策関連工事、那珂川・久慈川緊急プロジェクト関連工事等の着実な実施のため、直轄工事の施工実績がない企業でも参入しやすくなるよう、例えば特定JV（県内大手+地元企業）の活用などを検討していただきたい。

建設業の魅力を発信

CCI茨城



茨城県魅力ある建設事業推進連絡会議（CCI茨城、委員長・石津健光本会会長）が3月26日に水戸市の茨城県建設技術研修センターで開かれ、令和3年度の事業計画などを決定しました。令和3年度も建設体験学習や建設現場見学会、建設業インターンシップ、「建設フェスタ2021」の開催などを予定。また建設の魅力伝える「(仮)いばらき建設図鑑」の作成に協力していきます。

働き方改革推進を

経営企画委員会



本会の経営企画委員会（佐々木孝夫委員長）が3月9日に水戸市の茨城県建設会館で開かれ、令和3年度の事業計画案などを協議しました。令和3年度も働き方改革へ週休2日制の推進や建設キャリアアップシステム（CCUS）への対応などに取り組みます。佐々木委員長は「来年度の事業計画を協議する大切な会議。慎重なご審議をお願いしたい」とあいさつしました。

共済保険と資金制度促進

県建設業協同組合が理事会



茨城県建設業協同組合（石津健光理事長）の理事会が3月29日、水戸市の茨城県建設技術研修センターで開かれ、令和3年度（第51期）の事業計画案などを了承しました。共済保険事業（生命共済制度、総合補償制度、損害保険制度）や県建設業振興資金事業（工事代金立替制度）、地域建設業経営強化融資事業（地域建設業経営強化融資制度、下請セーフティネット債務保証）に取り組み、組合員の経営の安定と発展に努めます。

小規模工でもICTを

「ホンキの一步」体験会



本会では、茨城県土木部や茨城県土木施工管理技士会などとの共催で3月2日、i-Constructionをさらに推進するため「ホンキの一步体験会」を行方市の(株)トプコン関東トレーニングセンタで開催しました。鉾田支部の会員企業から現場技術者など10人が参加したほか、Web会議システム「Zoom」を活用して体験会の内容を配信。小規模の工事現場にも対応したICT施工や3次元設計データなどを体験し、理解を深めました。

県内Sは土木98社、建築58社 茨城県の 令和3・4年度格付け

茨城県土木部監理課は、令和3・4年度の建設工事の入札参加の有資格者をまとめました。県内Sランクの業者数は土木98社（前回は7社増）、建築58社（同8社減）。

県では入札・契約制度の運用にあたり、公平性・競争性を確保するとともに、工事の品質確保や災害対応、地域のインフラ整備・維持管理を担う地域の守り手の確保・育成の観点から、経営状況、経営規模、技術力などを総合的に勘案し、建設工事の格付けに係る総合点数基準を設定しました。

業種ごとの県内業者数は、土木は1,756社。内訳はSランク98社、Aランク412社、Bランク627社、Cランク619社。

県内の建築業者は792社。内訳はSランク58社、Aランク91社、Bランク387社、Cランク256社。

茨城県の令和3・4年度 建設工事の格付け基準

| 業種 | 格付 | 許可区分 | 発注標準金額 | 県内業者数 |
|----|----|------|---------------------|-------|
| 土木 | S | 特定 | 4,000万円以上 | 98 |
| | A | | 3,000万円以上 2億円未満 | 412 |
| | B | | 1,000万円以上 3,000万円未満 | 627 |
| | C | | 1,000万円未満 | 619 |
| 建築 | S | 特定 | 4,000万円以上 | 58 |
| | A | 特定 | 3,000万円以上 2億円未満 | 91 |
| | B | | 1,000万円以上 3,000万円未満 | 387 |
| | C | | 1,000万円未満 | 256 |
| 電気 | A | | 1,000万円以上 | 96 |
| | B | | 500万円以上 1,000万円未満 | 148 |
| | C | | 500万円未満 | 147 |
| 管 | A | | 1,000万円以上 | 148 |
| | B | | 500万円以上 1,000万円未満 | 401 |
| | C | | 500万円未満 | 168 |
| 舗装 | A | | 1,000万円以上 | 283 |
| | B | | 250万円以上 1,000万円未満 | 399 |
| | C | | 250万円未満 | 698 |

茨城県幹部職員 (建設関係部門)

令和3年4月1日現在

| 土木部 | |
|----------------|---------|
| 職名 | 氏名 |
| 部長 | 仙波 義正 ● |
| 次長 | 皆川 和彦 ● |
| 次長 | 松山 和規 ● |
| 都市局長 | 田村 央 ● |
| 港湾振興監 | 青山 紘悦 |
| 監理課長 | 眞家 勝彦 |
| 企画監 | 矢内 勝浩 ● |
| 用地課長 | 木内 良夫 ● |
| 技術管理統括監兼検査指導課長 | 久家 良和 ● |
| 道路建設課長 | 石川 昭 ● |
| 高速道路対策室長 | 小園江 実 |
| 道路維持課長 | 大森 満 ● |
| 道路保全強化推進室長 | 海老原 徹 ● |
| 災害・防災対策監兼河川課長 | 林 利家 |
| 水防災・砂防対策室長 | 井上 和則 |
| 港湾課長 | 柳岡 隆 ● |
| 営繕課長 | 木村 忠夫 |
| 都市計画課長 | 前野 秀昭 ● |
| 都市整備課長 | 蛭町 修身 |
| 市街地整備室長 | 高野 亨 ● |
| 下水道課長 | 和田 幸三 ● |
| 建築指導課長 | 山田 陽一 ● |

| | |
|----------------------|---------|
| 住宅課長 | 大森 智 ● |
| 水戸土木事務所長 | 羽成 英臣 ● |
| 常陸大宮土木事務所長 | 石川 博章 ● |
| 大子工務所長 | 山田 道雄 |
| 潮来土木事務所長 | 栗林 俊一 |
| 土浦土木事務所長 | 大石 直人 ● |
| 土浦土木事務所つくば支所長 | 梅澤 信行 |
| 筑西土木事務所長 | 深作 正志 ● |
| 常陸太田工事事務所長 | 木村 政美 ● |
| 高萩工事事務所長 | 佐竹 義人 ● |
| 鉾田工事事務所長 | 鈴木 慎一 |
| 圏央道沿線整備推進監兼電ヶ崎工事事務所長 | 生田目好美 ● |
| 常総工事事務所長 | 浦和 振 ● |
| 境工事事務所長 | 野島 泰久 ● |
| 茨城港湾事務所長 | 根田 信義 ● |
| 日立港区事業所長 | 藤 俊一 |
| 大洗港区事業所長兼港湾整備課長 | 小林 修 ● |
| 鹿島港湾事務所長兼保安調整監 | 寺家 喜重 ● |
| 鹿島下水道事務所長 | 藤ヶ崎一美 ● |
| 流域下水道事務所長 | 長山 公信 ● |

| 農地局 | |
|--------|---------|
| 職名 | 氏名 |
| 農林水産部長 | 根崎 良文 ● |

| | |
|----------------|---------|
| 農地局長 | 豊田雄一郎 ● |
| 農村計画課長 | 柏木 達陽 ● |
| 農地整備課長 | 金 徹 ● |
| 県央農林事務所土地改良部門長 | 山藤 郁夫 ● |
| 県北農林事務所土地改良部門長 | 檜山 敦 |
| 鹿行農林事務所土地改良部門長 | 酒井 敏博 ● |
| 県南農林事務所土地改良部門長 | 関口 勝行 ● |
| 県西農林事務所土地改良部門長 | 渡辺 邦夫 ● |
| 高萩土地改良事務所長 | 岡部 弘道 ● |
| 稲敷土地改良事務所長 | 倉持 明彦 ● |
| 境土地改良事務所長 | 坂場 祐二 ● |

| 企業局 | |
|--------------|---------|
| 職名 | 氏名 |
| 公営企業管理者企業局長 | 澤田 勝 |
| 企業局次長 | 原部 修一 ● |
| 危機管理対策監兼施設課長 | 高田 浩幸 |
| 参事兼総務課長 | 圓崎 浩明 |
| 業務課長 | 羽生 進 |
| 県南水道事務所長 | 安 英徳 ● |
| 鹿行水道事務所長 | 佐藤 啓司 |
| 県西水道事務所長 | 宇留野茂雄 ● |
| 県中央水道事務所長 | 綿引 裕治 |

●…新任（敬称略）

土浦支部
活動報告

優良施工・技術者に支部長表彰

土浦支部（小林伸行支部長）は3月31日、支部長表彰式を支部会館で行いました。茨城県の優良施工表彰に輝いた3社、県土浦土木事務所長表彰を受賞した15人の技術者を称えました。

小林支部長は、受賞者の活躍に感謝の意を表しながら「今後は現場のデジタル化などデジタルトランスフォーメーションに取り組まなければならない。支部としても勉強し、デジタル化に遅れないようにしたい」とあいさつ。

受賞者を代表して谷原建設㈱の小林圭一代表取締役は「今後もさらに技術の研鑽と知識の向上、経営の合理化に徹底的に取り組んでまいります」と謝辞を献じました。

受賞者は次のとおり（敬称略）。

【知事特別賞表彰・ICT賞】

◆㈱富晃

【農林水産部長表彰】

◆市村土建㈱

◆谷原建設㈱

【土浦土木事務所建設技術者所長表彰】

◆矢野弘之（㈱富晃）

◆宇都野洋（㈱折本工業）



謝辞を献じる小林代表取締役

- ◆齋藤久雄（㈱霞工業）
- ◆齊藤誠（㈱齊藤建設）
- ◆平川裕一（佐々木建設㈱）
- ◆嶋田龍樹（ヤシマ建設㈱）
- ◆木内実（市村土建㈱）
- ◆園部信夫（白田組土木㈱）
- ◆長谷川敏久（㈱長谷川工務店）
- ◆鈴木茂則（㈱巽興業）
- ◆山田裕一（㈱大和田建設）
- ◆塚越幸雄（東亜工業㈱）
- ◆小森昌佳（星田建設工業㈱）
- ◆上野徳則（㈱ムラノ）
- ◆小盛積（㈱新みらい）

鉦田支部
活動報告

災害時パトロール強化へ説明会

鉦田支部（羽生義隆支部長）は3月5日、茨城県鉦田工事事務所（鈴木慎一所長）との災害協定に基づくパトロール等に関する説明会を同支部会館で開きました。鉦田工事が地震時などのパトロール体制や報告方法などを説明し、参加した支部会員は連絡体制を強化することを確認しました。

鉦田工事事務所ではそのほか、入札参加申請書を提出する際の留意点、総合評価方式（特別簡易Ⅰ・Ⅱ型）の資料の注意点も説明しました。



建設業の魅力と役割を解説

水戸工業高校で“出前授業、ドローン、遠隔臨場を説明

本会は3月16日、国土交通省常陸河川国道事務所などと共に水戸市の茨城県立水戸工業高校で“出前授業、を行いました。土木工学科1年の約40人に対し、久慈川の緊急治水対策工事で使用されている最新技術を説明。またドローン操作や遠隔臨場を用いた現場監督の一部を体験してもらいました。

出前授業は、建設現場の魅力を伝え、建設業への理解を深めてもらうとともに、令和元年の台風第19号の被災対策の現状を伝えるために実施しました。

授業では、久慈川の緊急治水対策について国交省の久慈川緊急治水対策河川事務所工務課の小室昭係長が紹介。

続いて国交省発注の「R1久慈川左岸竹瓦地先河道掘削外工事」について、施工業者である高橋建設工業(株)(水戸支部)の成田安側土木部次長が説明。また常陸河川国道事務所調査第一課の平野功一専



ドローン操作を体験してもらいました

門官が台風19号の対応記録を解説しました。

その後屋外に移動し、ドローンの操作体験を実施。さらに久慈川対策工事の現場と教室をリモート現場監督システムで中継し、ウェアラブルカメラによる映像と音声の双方向通信を体験してもらいました。

高橋建設工業の高橋順子代表取締役社長は「出前授業がきっかけとなって、生徒が進路として建設業界を選択してくれたら嬉しい」と話しています。



参加した生徒と記念撮影

会員の動向

〈代表者変更〉

▽常陸大宮支部
(株)八木組 八木幸雄 → 八木孝昌

▽高萩支部
山川建設(株) 山川武美 → 鴨志田智

▽潮来支部
(株)菅谷建設 菅谷 厚 → 菅谷士朗

本部事務局 異動

4月1日付

【新規採用】

◆技術顧問 宇野光義

【昇任】

◆業務部長(業務課長) 鈴木康弘

◆業務課課長補佐(業務課係長) 金田将志

◆労務第一課係長・建退共(労務第一課係員)

小曾戸典子